

富士朝霧地区における良質堆肥の生産と広域流通

(静岡県：富士宮市畜産環境対策推進協議会)

取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
		○			

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

<取組主体について>

- 所在地：静岡県富士宮市
- 取組主体：朝霧地区堆肥広域流通会議（協議会内の分会）
- 構成員：県、富士宮市、富士開拓農協、JA富士宮、肥料販売業者、酪農家（48戸）、耕種農家
- 乳牛飼養頭数：約5,000頭
- 堆肥生産量：73,000t/年
- 草地面積：580ha



富士山を望む広大な牧草地

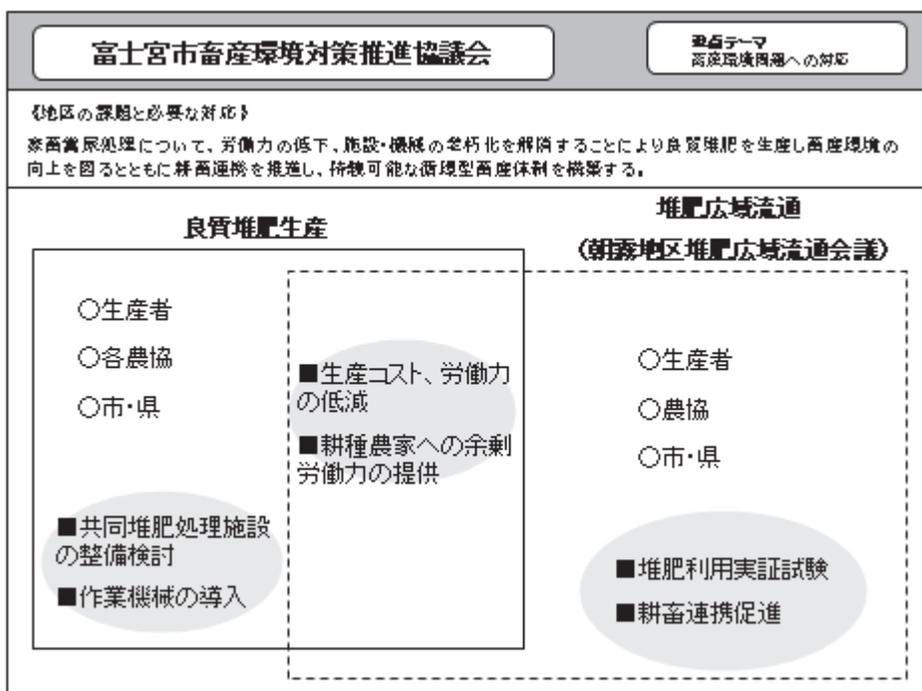
<取組について>

○ 概要

- 当地区は、県内最大の酪農地帯で、乳牛約5,000頭（県内の約37%）を飼養。
- 広大な牧草地を有し、発生した堆肥の多くは草地へ還元されていたが、飼養頭数の増加に伴い、既存の牧草地への還元可能量を超える堆肥の発生が懸念（余剰堆肥の発生）。
- 堆肥の余剰解消のため、堆肥製造販売の外部委託と堆肥の広域流通を検討する会議を設立し、良質堆肥の生産と広域流通に取り組んだ。

○ 成果

- 地区内の肥料製造業者に牛ふん堆肥の製造・販売委託の協力を得ることができた。
- 協議会で、畜産農家と耕種農家の連携が図られた。
- 耕種農家（カリフラワー、ブロッコリー等）8戸（地区外）と連携し展示ほを設置。
- アンケート調査を通じた耕種農家のニーズに沿った牛ふん堆肥製品（小パック化：20kg→10kg・15kg）の提供によるハンドリング性向上により、広域流通・販路拡大が実現。
- 堆肥の地区外への流通量は29,000t/年（平成27年）から57,000t/年（令和3年）へ増加。



堆肥の地区外への流通

